

かもまる通信



第 11 号

平成 30 年 2 月発行
発行：いわき総合図書館
〒970-8026
平字田町 120
TEL22-5552

【図書館歳時記】「いわきの戊辰戦争 —1868 年 6 月 28 日、泉城落城」

平成 30 (2018) 年は戊辰戦争から 150 年、大きな節目の年に当たる。薩摩藩や佐土原藩、大村藩などの新政府軍が平潟に上陸したのは 1868 年 6 月 16 日。

そして、6 月 28 日、新政府軍は泉城を攻撃する。朝早く、平潟を進発した薩摩藩や大村藩の部隊は、途中、黒須野や剣浜で泉藩の勢力を打ち破り、午前 9 時、泉城の大手門と裏門から同時に城内に突入した。

その時の様子は、薩摩藩の私領二番隊の記録『私領二番隊戦状』には「泉城下にて、ときを揚げ、私領二番隊は大手門へ向かい候えども、扉かたく、押し破りがたく候につき、門の脇、窓戸連子を切り破り、それより入り、大門を開け、同勢、押し入り候えども、賊はすべて逃げ去り申し候」と書かれている。

いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「50 代からしたくなるコト、なくていいモノ」

岸本葉子 || 著 中央公論新社



50 歳を超えると、人生の半分を超えたことを実感し、残りの人生をどうしようと考え方が多いと思います。この本には、50 代からの確かな自分をみつけるヒントや、簡潔なアドバイスが満載です。「そうじが嫌でなくなるために大事なのは、モノが少ないことである」ということを紹介していますが、モノを減らせば、汚れは溜まりにくくなり、そうじは楽に…。

体力や適応力の低下を自覚する 50 代、新しいことへの取り組みに躊躇しがちですが、ふつうのくらしをなるべく長く続けていくための心得として、参考にはいかがでしょうか。

「全国の犬像をめぐる」

青柳健二 || 著 青弓社



この本では、全国各地の忠犬・愛犬の像約 60 体と、像のモデルとなった犬のエピソードを紹介しています。著者は写真家で、各地の犬の像の写真を掲載していますが、忠犬だったのは、ハチ公だけではなく、例えば、新潟には雪崩から二度も飼い主を救った「忠犬タマ公」の像、北海道小樽市には「消防犬ぶん公」の像など、日本全国にはたくさんのわんこ像があります。「消防犬ぶん公」のお話では、火事場にあつまってくるやじ馬の整理をしていたなどのエピソードが紹介されています。成年にちなんで、犬の本を読んでみてはいかがでしょうか。

「吉田初三郎の鳥瞰図を読む」

堀田典裕 || 著 新潮社



鳥瞰図は近代地図ができる以前に多く作られた図です。鳥の目に映る景色のように、高みから見下ろしたように描かれており、今も山岳図や観光案内図に使われています。日本では大正から昭和の中頃にかけて、全国各地の美しい鳥瞰図が描かれています。吉田は「大正の広重」と呼ばれ、皇太子時代の昭和天皇から、お褒めの言葉を賜ったという有名な話があります。「観光立国」や訪日外国人旅行が注目を浴びる今、「吉田初三郎」から日本の風景や観光を読み解いてみてはいかがでしょうか。

「イチからつくるカレーライス」

関野義晴 || 編 中川洋典 || 絵 農山漁村文化協会



この本は、探検家・関野義晴氏による武蔵野美術大学のゼミの授業内容から、読者が実際に、イチからカレーライスをつくれるよう、1 冊にまとめたものです。一からということで、学生は、米の作付けにも関わります。食べるための様々な知恵や工夫を学び、自然から命をいただいているという感謝の気持ちで、カレーを食べるのです。著者は、「自分が体験したことの中から、多くの気づきや発見がある」と綴っています。今の暮らしや生き方を見つめなおすきっかけになる一冊です。

貸出 TOP10

1	火花	又吉直樹 著	文藝春秋
2	人魚の眠る家	東野圭吾 著	幻冬舎
3	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾 著	角川書店
4	マスカレード・ホテル	東野圭吾 著	集英社
5	祈りの幕が下りる時	東野圭吾 著	講談社
6	危険なビーナス	東野圭吾 著	講談社
7	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
8	とんとだす	畠中恵 著	新潮社
9	ラプラスの魔女	東野圭吾 著	KADOKAWA
10	AX	伊坂幸太郎 著	KADOKAWA

予約 TOP10

1	マスカレード・ナイト	東野圭吾 著	集英社
2	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
3	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
4	キラキラ共和国	小川糸 著	幻冬舎
5	この世の春 上	宮部みゆき 著	新潮社
6	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子 著	河出書房新社
7	この世の春 下	宮部みゆき 著	新潮社
8	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎 著	マガジンハウス
9	おもかげ	浅田次郎 著	毎日新聞出版
10	日の名残り	カズオ・イシグロ 著	中央公論社

知っていますか？便利な図書館機能

【小名浜図書館 学習・閲覧室を設置しました！】

小名浜図書館では、図書館隣り（小名浜公民館2階南側）に、利用者の方が勉強や読書に利用できる「学習・閲覧室」を設置しました。

学習・閲覧室の利用は、平日は10時から18時45分まで、日・祝日は10時から17時45分までの間、中学生以上の方が小名浜図書館カウンターで申込みを行うと利用することができます。この機会にぜひ、学習や読書にご活用ください。



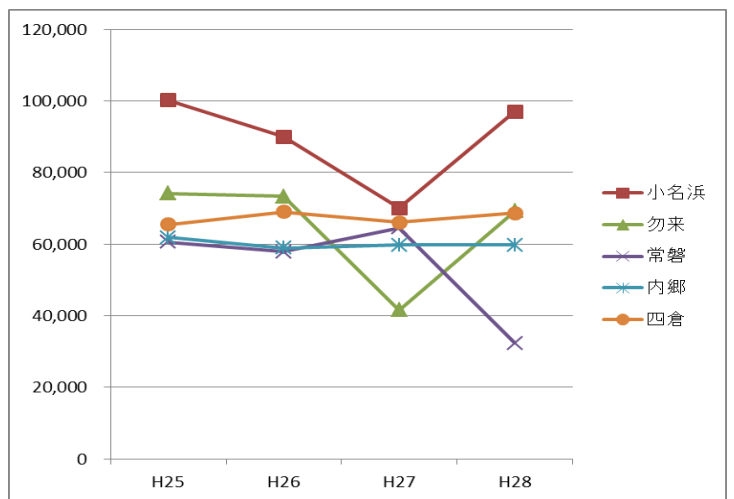
シリーズ 数字で見るといわきの図書館

【地区図書館の来館者数】

5館合計 326,975人（平成28年度）

小名浜	96,985
勿来	69,264
常磐	32,317
内郷	59,730
四倉	68,679

地区図書館では、小名浜図書館が多くなっています。平成27年度に小名浜、勿来図書館が、平成28年度に常磐図書館が、減少しているのは、耐震補強工事のため休館したためです。



図書館豆知識

録音図書製作にボランティアが活躍しています！

図書館では、目が不自由などの理由のため、市販の出版物をそのまま利用することが難しい方のために、図書館支援ボランティアの声による録音図書を製作やデイジー図書(デジタル録音図書)の編集を行っています。現在、市内の約15名の方が図書館支援ボランティアとして活躍しており、音訳、校正、デイジー編集、デイジー校正といった業務を行っています。『コンビニ人間』や『海に見える理髪店』など、話題となった受賞作の他、いわきにゆかりのある作品の製作を行っています。目が不自由な方はぜひ録音図書をご利用ください。

